

# 障がい福祉瓦版

～2人と1匹(?)が歩む共生社会への道～



■問い合わせ先

下野市障がい者相談支援センター

☎(37)9970

## 第九歩 働くということ

### 【働いている現状について】

(ゆ) あけまして

(毛・鈴) おめでとうございます！

(ゆ) 今年も宜しくね。

(毛・鈴) こちらこそよろしくお祈りします。

(ゆ) さて、今年はどんな話からスタートしようかしらね。

(毛) 今年は障がいのある人の暮らしにもう少し踏み込んだ話をしていきたいなと！

(鈴) そこで、今回は「働く」をテーマにするのが良いかなと!!

(ゆ) なんだか良いスタートがきれそうね。2人のところには働くことについての相談はくるの？

(鈴) くるよ。理由を聞いてみ

それと、同時にやりたいというより、できる仕事のあるところに行っているという人も少なくないという印象かな。

(毛) これは障がいのあるなしは関係ないところかもね。ただ、福祉サービス事業所での仕事の内容も幅が広がってきて、選択肢が増えてきているのは良いことだね。

(鈴) 会社で働いている人に対しても安心して働くことができるようにサポートしてくれる機関もあるから、障がい者が働く環境は徐々に整ってきているね。

(ゆ) あ、ちなみにね。お給料とかっていくらぐらいもらえるものなの？気になっちゃうわ。

(毛) それ大事なことだね。福祉サービス事業所で働いた場合の平均月収についてこんな調査結果があるよ。就労継続支援 A 型は約66,000円、就労継続支援 B 型は約17,000円。平均だから一律にこの金額って訳ではないけどね。

ると本当に色々。例えば「趣味を週末に楽しむ為のお金を稼ぎたい」とか、「生活していくため」とかね。特に理由はなく「やることがないから」という人もいたりします。

(ゆ) へえー、働くって言うても色々なのね。

(毛) そういえばゆうぽんって働いているの？

(ゆ) 私？私は色々な荷物を運ぶのが仕事よ。大小さまざまな荷物よ。昨日は「子どもたちへの無償の愛」を運んだわ。働くって…素敵なことよね。

(毛) さすがのスケール感…。

(鈴) でも確かに1日24時間のうち、寝ている時間を除いて相当な時間を働くことに使っているよね。

(ゆ) これってどうなの？高いの？安いの？

(鈴) うーん、それは人によって判断は分かれるんじゃないかな。

(毛) でもこの金額だけで生計を成り立たせるのは難しいかもね。

(ゆ) え？じゃあどうやって生活しているの？

(鈴) 年金とかいろいろな制度を活用したり、あとは家族の支援を受けながら生活をしている人が多いね。

(ゆ) そうなのね。仕事内容や支援体制の充実も大切だけど、お給料も充実してくるといいわね。

(鈴・毛) おっしゃるとおり。



(ゆ) たしか福祉サービスの中にも働くことに関連するものがあったわね？確か…えーと就労…なんとかC型とかD型とか。

(鈴) 就労継続支援のことかな？ちなみにA型とB型ね。就労移行支援っていうのもあったね。

(ゆ) そうそう！そういうサービスを使っている人もいれば、会社で働くことを選ぶ人もいるっていうことは前に話していた分かったの。でもどうなのかしら？みんな満足した働き方を選んでいるの？

(毛) そうだねー、そこは人によって違うかも。

(ゆ) あら？なんだか奥歯にモノが詰まったような言いぶりね。

(鈴) もちろん、やりたい仕事をしている人もたくさんいるよ。

### 【働くことの意味】

(ゆ) 働くということの意味とか目的って色々ね。

(毛) もちろんそうさ。働く事の考え方って人それぞれ。正解っていうのはなくて当然かもね。

(鈴) でも障がいの有無に関わらず、だれもが自分のやりたいことができる社会になるといいよね。

(毛) 確かに。働くことが生きざまってるというのはそのとおりのかもね。もちろん生活のため、お金のために働くっていうものもあるけど、働くことで得られるものってきっとそれだけでは無いように思うんだよね。

(ゆ) うんうん。障がいがある人が働くということについてちょこっとだけ理解できたきがするわ。

(鈴・毛) ちょこっとって…うん、良しとしよう。新年だし！

掲載内容や記事への感想募集中！